

### 3 基礎学力の向上を図る 学習指導

- (1) 基礎・基本の定着を図る指導計画の工夫改善
  - ① 学習指導要領の目標と内容を踏まえるとともに、各教科等及び各学年間・校種間の関連を図る。
  - ② 自校の課題を明らかにして指導内容の重点化を図り、児童生徒の実態に即した工夫改善に努める。
  - ③ 「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が図られるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して構成を工夫する。
- (2) 児童生徒が生き生きと取り組む学習活動の充実
  - ① 授業の様々な場面で一人一人に必要な感をもたせ、見通しや振り返りの活動を充実させることで、主体的に学ぶ態度を育む。
  - ② 言語活動を効果的に位置付け、児童生徒が「問い」を発して学び合うことで、自己の考えを広げ深められるようにする。
  - ③ 各教科等の特質に応じた学習の過程を重視し、児童生徒が「見方・考え方」を働かせる手立てを工夫することで、より質の高い学びの実現に努める。
  - ④ 目的に応じた指導方法や指導体制を工夫し、個に応じた必要な配慮をすることで、全ての児童生徒に分かる・できる喜びを実感させる。
  - ⑤ 学んだことが、地域や社会の中で生活と関連していることについて、児童生徒が実感できる学習活動を工夫する。
  - ⑥ 全ての児童生徒の自己有用感が高まるように、安心して学習に取り組むことができる受容と共感に支えられた授業づくりに努める。
- (3) 授業改善につながる評価の工夫
  - ① ねらいを実現した児童生徒の学習状況を具体的に示した評価規準を設定し、評価の場面や方法を工夫することによって、学習の過程や成果を適切に評価し、次の指導に生かす。
  - ② 諸調査を活用し、児童生徒の学習状況等に即した指導方法の工夫改善に努める。

### 4 幅広い識見と実践的指導力を 培う教職員の研修

- (1) 信頼され魅力ある教職員を目指す自己研修
  - ① 秋田県教員育成指標に基づき、人事評価システムにおける自己目標等との関連を図りながら計画的・継続的に研修を進め、キャリアステージに応じた実践的指導力を高める。
  - ② 課題意識をもって学校内外の研修に努め、教職員としての視野を広げ、専門性を高める。
- (2) 学校を活性化させるための研修
  - ① 自校の特色や教育課題等を共通理解した上で、PDCAサイクルを生かした研修の工夫・充実に努める。
  - ② 地域や学校内外への積極的な授業の公開や、校種間連携による研修を進め、学校全体としての教育力向上を図る。
  - ③ 各教科等の学習を通してふるさとのよさに気付かせ、愛着心を育てるために、地域素材や人材の効果的な活用等に関する研修を充実させる。
- (3) 今日的な教育課題に対応するための研修
  - ① 「カリキュラム・マネジメント」や「主体的・対話的で深い学び」の実現など、新学習指導要領の趣旨について教職員一人一人が理解を深め、自校のこれまでの研究実践を生かしながら、課題改善に向けた研修を実施する。
  - ② インクルーシブ教育システムの理念の下に、個別の教育的ニーズのある児童生徒の理解や合理的配慮を踏まえた指導・支援について、全校体制による研修を充実させる。
  - ③ 学校いじめ防止基本方針に基づく対応の徹底と、問題行動や不登校の未然防止とその解消に向けて、生徒指導の機能を高める研修を充実させる。
  - ④ 自分の命を自分で守る児童生徒の育成を図る観点から、学校や地域の実態に即した防災教育を充実させる研修を推進する。